

国民健康保険税の引き下げについて

問 本市の30代の夫婦、子ども2人の4人家族で、所得300万円の世帯の場合、国民健康保険税は、所得の13%を占めており、国保税の引き下げを行う必要があると考えるが、見解を伺いたい。

答 本市の国保財政においては医療費が増加し、一般会計から約4億5千万円を借り入れているという状況の中、国保税の引き下げは困難であると考えている。なお、被保険者の負担軽減のため、国庫負担金の増額等について全国市長会等を通じて国へ要望している。



長崎市民会議

文化財保全基金のマッチング方式採用について

問 文化財の保存には多額の費用を要するため、こども基金で実施されているマッチング方式を参考に、文化財保全基金の設置を検討してどうか。



伊王島灯台旧職員退息所(県指定有形文化財)

答 他都市では、文化遺産の修復を目的とした基金があり、保存整備のための補助金の財源としているが、基金が集まらないなどの問題も発生している。マッチング方式による基金については、所有者の負担を軽減し、貴重な文化財を後世に継承していくためにも、引き続き研究すべきテーマであると考えている。

名古屋市長選についての見解

問 現在、地方の声を取り上げようといううねりが各地で起こっており、民意を問いたずすということへの表れではないかと考える。先般行われた名古屋市長選がそのことを最も大きく指摘していると考えますが、その結果についてのどのような見解を持っているか。

答 税のあり方、議会のあり方、議会との関係など、地方自治の基本的な部分への問いかけがなされた同選挙の結果は、地方政治、地方行政のあり方が変わっていく流れの中で起きた一つの事象であると思う。地方が、その地方にあった地域づくりを進めるための仕組みづくりを一つひとつ実践していきたい。

1市2町（長崎市、時津町、長与町）の合併について

問 国において定住自立圏構想が示され、本市としては、周辺町の時津町、長与町と緊密な連携をとりながら、本構想の推進に動いていると聞き及んでおり、合併の前段階だと認識するが、1市2町の合併による広域行政指向の考えを伺いたい。

答 長崎市・長与町・時津町連携協議会において、1市2町の都市圏の将来像を話し合い、国が示した定住自立圏構想の活用を始め、住民サービスの水準向上や効率的・効果的な行財政運営の推進について、連携を密にして積極的に取り組んでいきたい。

気走会

孫文と梅屋庄吉の記念館建設について

問 梅屋庄吉の一生と孫文との強い友情、日中交流の偉大な功績を顕彰するため、孫文と梅屋庄吉記念館を建設すべきではないか。

答 孫文と梅屋庄吉を顕彰し、アジア各国に情報発信することで、交流人口の拡大に伴う地域活性化に寄与することを目的に、「孫文と梅屋庄吉」発信プロジェクト推進協議会が本年2月に発足している。このなかで多彩な内容について検証していくが、現在、特別展で展示すべき内容の検証を行っているところであり、記念館の建設については、今後、関係団体とともに連携し検討を進めていきたい。